

# まいど！ 店長 くらだの きまぐれコラム

## 【ハラスメントにならない叱り方？】

管理職は、常にハラスメントにならないか十分考えながら部下指導なくしてはいけないのですが、その中でも、相手に「ネガティブな指摘」をしないといけない事が多々あると思います。

そこでハラスメントにならない「叱り方」について、アメリカで古くから使われている手法で、特にZ世代と呼ばれる世代に効果的である「シットサンドウィッチ」についてご紹介します。

「シットサンドウィッチ」とは？

「シット」とは「苦言」の事ですが、その「苦言」を〇〇でサンドウィッチすると、ハラスメントにならないそうです。

その〇〇は「ポジティブワード」であります。「苦言」を言われる人が前向きになれる言葉で挟み込みなさいという事があります。

これは徳川家康も使っており、「最初に今までの功績を称えて感謝する」「最後にこの先も期待していると伝える」この間に「苦言」を入れるわけであります。

ですから、「苦言」を伝えるには、「感謝」と「期待」を用意しておく必要があります。

もし、「感謝」する事が見つからなくて、「苦言」から伝えてしまうとハラスメントになる可能性が強くなります。

「感謝」が見つからないのは管理者側が気付かないだけで、どんな人でも必ず会社の為に役に立っているわけですから、それを見つけ出せないのはもしかしたら管理者側の「驕り」かもしれません。

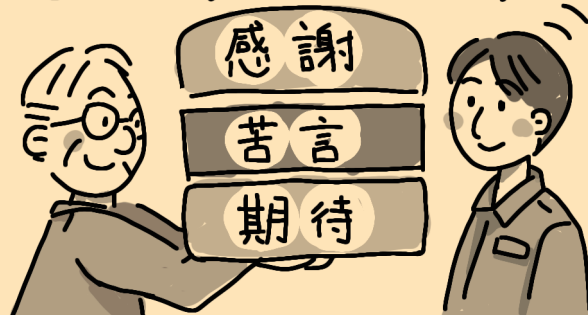
まず「苦言」を伝える前にその人を良く観察し、その人の持つ「他の人に無い良い所」を見つけ出してあげ、「シットサンドウィッチ」を使用する事によりハラスメントにならず、部下育成ができるという事です。

考え方としては「感謝」と「苦言」は必ずセットにしておくという事です。

若いスタッフに対してハラスメントを恐れ何も言わないような状態が続くと、若いスタッフは不安を感じ転職するような事例も聞いています。

若いスタッフとの本当のコミュニケーションを作る上でも有効ではないでしょうか。

## 叱る時はシットサンドウィッチ？



## スタッフ紹介



平本 真理 Mari Hiramoto

【所属】印刷部

【血液型】A型

【得意なこと】物づくり

【趣味】レザークラフト・園芸

3年前に入社した平本です。当初は製造部で頑張っていました。昨年10月より印刷部へ配属となりました。製造部と印刷部では仕事の内容が違うので覚えることがたくさんあり、まだまだ勉強中ですが、より良い製品をお客様に提供できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

いつも優しく面白い平本さん。家庭と仕事を両立する頼れる印刷部のリーダーです。



社内でのひとコマをご紹介します

## プロの小ネタ部屋

我が家のペット自慢  
宮村家編

今回は当社製造部でウエルダーを担当している宮村のかわいいインコを紹介します。

名前：きいちゃん（2歳）

種類：セキセイインコ（ハルクイン）

性別：男の子

特技：逆さまになって遊ぼうアピール

きいちゃんは、おしゃべりができるインコで自分の名前を呼んだり「きいちゃんカワイイ」など、よく話してくれます。

小言... 娘が勝手に飼ったのに、いつの間にか私がお世話係に...



次回もお楽しみに！

## 編集後記

vol. 16をお読み頂きありがとうございます。楽しんでいただけましたか？今後も皆様に楽しんで頂ける紙面づくりを心掛けます。5年ぶりの集合写真を見て、改めて古株メンバーになったなあ実感（笑）これからもスタッフ一同仲良く働いていきたいです。よろしければ、ご意見・ご感想などお聞かせください♪ どうぞ次号もお楽しみに！！

ニュースレター担当 堀江